

※ 資料区分		※ 受理警察署	：	：	：	：	：	：	(署)
※ 受理番号		※ 受理年月日		：	年	：	月	：	日		
※ 届出種別	1. 管内営業所あり 2. 管内営業所なし										
※ 営業開始年月日		：	年	：	月	：	日				

※欄については記載不要

営業所設置等届出書

警備業法第9条の規定により届出をします。

営業所を設置する前
日までに届け出る

〇〇年〇月〇日

京都府 公安委員会 殿

届出者の氏名又は名称及び住所

兵庫県■■市××町1番地1

●●警備保障株式会社 ㊞

代表取締役 兵庫太郎

(フリガナ)	マヽルヽマヽルヽケヽイヽヒヽホヽシヽヨヽウヽ (ヽKヽKヽ)									
氏名又は名称	●●警備保障株式会社									
住所	兵庫県■■市××町1番地1									
	電話 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇 番									
認定証を交付した公安委員会の名称	兵庫県 公安委員会 ※									
認定証の番号	0 0 0 0 0 0 0 0									
主たる営業所	名称	●●警備保障株式会社								
	所在地	兵庫県■■市××町1番地1								
	電話 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇 番									

フリガナはカタカナで記入し、濁点は1文字と数える。姓と名は1マス空ける。
なお、株式会社は「KK」、有限会社は「ユウ」と略記する。

(注) 上記の「主たる営業所」欄には、主たる営業所が当該都道府県の区域外に所在し、かつ、当該都道府県の区域内で行おうとする警備業務に係らない場合に限って記載すること。なお、それ以外の場合の主たる営業所については、別紙1 (1) 又は (2) に記載すること。

別紙1 (1) 当該都道府県の区域内に設けようとする営業所

※ 資料区分		※ 認定証交付公安委員会	
※ 認定証の番号		※ 受理警察署	
※ 警備業者名			

1 主たる 営業所	名称	●●警備保障株式会社 京都営業所										※			
	所在地	京都府■市●町1番地1										※			
	設置年月日		○	○	年	○	○	月	○	○	日	※			
	警備業務の区分	1号		2号		3号		4号							
警備業務の種別	1. 住宅に係る機械警備業務 2. 1. 以外の機械警備業務 3. 空港保安警備業務		4. 施設警備業務 5. その他		1. 雑踏警備業務 2. 交通誘導警備業務 3. その他		1. 現金運搬警備業務 2. 1. 以外の貴重品運搬警備業務 3. 核燃料物質等危険物運搬警備業務		4. その他						
2 その 他の 営業所	氏名	ミヤコ シロウ 都次郎										配置 状況	1. 専任 2. 兼任		
	住所	京都府●市■町1番地1										※			
	生年月日	明治	大正	昭和	平成	年	月	日	性別	1. 男 2. 女		※			
	選任に係る警備業務の区分	1号		2号		3号		4号							
	選任に係る資格者証を交付した公安委員会の名称	京都府 公安委員会										※			
	選任に係る資格者証の番号	1										○	○	○	○
	その他の営業所	名称											※		
所在地											※				
設置年月日				年			月			日	※				
警備業務の区分	1号		2号		3号		4号								
警備業務の種別	1. 住宅に係る機械警備業務 2. 1. 以外の機械警備業務 3. 空港保安警備業務		4. 施設警備業務 5. その他		1. 雑踏警備業務 2. 交通誘導警備業務 3. その他		1. 現金運搬警備業務 2. 1. 以外の貴重品運搬警備業務 3. 核燃料物質等危険物運搬警備業務		4. その他						
警備員 指導教育 責任者	(フリガナ) 氏名											配置 状況	1. 専任 2. 兼任		
	住所											※			
	生年月日	明治	大正	昭和	平成	年	月	日	性別	1. 男 2. 女		※			
	選任に係る警備業務の区分	1号		2号		3号		4号							
	選任に係る資格者証を交付した公安委員会の名称	公安委員会										※			
選任に係る資格者証の番号											※				

主たる営業所で行う予定である警備業務の区分及び種別について、該当する数字を○で囲み、そのうち主として行うものは◎で囲む

別紙1 (2) 当該都道府県の区域内で行おうとする警備業務に係る営業所（当該都道府県の区域外に所在するものに限る。）

① 主たる営業所	名称	●●警備保障株式会社										京都府外に所在する営業所が、京都府内で警備業務を京都府内で行う場合に記入する。								
	所在地	兵庫県■■市××町1番地1																		
	電話	(○○○)○○○ - ○○○○ 番										※								
	当該区域内における警備業務の開始年月日											○	○	年	○	○	月	○	○	日
	警備業務の区分	1号			2号			3号			4号									
	警備業務の種別	1. 住宅に係る機械警備業務 2. 1. 以外の機械警備業務 3. 空港保安警備業務			4. 施設警備業務 5. その他			1. 雑踏警備業務 2. 交通誘導警備業務 3. その他			1. 現金運搬警備業務 2. 1. 以外の貴重品運搬警備業務 3. 核燃料物質等危険物運搬警備業務 4. その他									
	警備員指導教育責任者	氏名	(フリガナ) ヒョウウコシロウ 兵庫 次郎										配置状況		1. 専任 2. 兼任					
		住所	神戸市●●区▲▲町1番地1																	
		電話	(○○○)○○○ - ○○○○ 番										※							
		生年月日	明治	大正	昭和	平成	年	月	日	性別	1. 男 2. 女									
選任に係る警備業務の区分		1号			2号			3号			4号									
選任に係る資格者証を交付した公安委員会の名称		京都府 公安委員会																		
選任に係る資格者証の番号	1:○:○:○:○:○:○																			
その他の営業所	名称																			
	所在地																			
	電話	() - 番										※								
	当該区域内における警備業務の開始年月日											;		年	;		月	;		日
	警備業務の区分	1号			2号			3号			4号									
	警備業務の種別	1. 住宅に係る機械警備業務 2. 1. 以外の機械警備業務 3. 空港保安警備業務			4. 施設警備業務 5. その他			1. 雑踏警備業務 2. 交通誘導警備業務 3. その他			1. 現金運搬警備業務 2. 1. 以外の貴重品運搬警備業務 3. 核燃料物質等危険物運搬警備業務 4. その他									
	警備員指導教育責任者	氏名											配置状況		1. 専任 2. 兼任					
		住所																		
		電話	() - 番										※							
		生年月日	明治	大正	昭和	平成	年	月	日	性別	1. 男 2. 女									
選任に係る警備業務の区分		1号			2号			3号			4号									
選任に係る資格者証を交付した公安委員会の名称		公安委員会																		
選任に係る資格者証の番号																				

別紙2 (届出者が法人の場合のみ記載)

代表者	(フリガナ) 氏名	ヒョウコウ タロウ 兵庫 太郎
	住所	兵庫県▲▲市××町1番地1 電話 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇番
役員	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
	(フリガナ) 氏名	ヒョウコウ ハナコ 兵庫 花子
役員	住所	兵庫県××市■●町2番地2 電話 (〇〇〇) 〇〇〇 - 〇〇〇〇番
	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
役員	(フリガナ) 氏名	
	住所	電話 () - 番
役員	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
	(フリガナ) 氏名	
役員	住所	電話 () - 番
	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
役員	(フリガナ) 氏名	
	住所	電話 () - 番
役員	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
	(フリガナ) 氏名	
役員	住所	電話 () - 番
	役職	1. 取締役又は執行役 2. 監査役 3. 業務を執行する社員 4. 理事 5. 監事 9. その他
役員	(フリガナ) 氏名	
	住所	電話 () - 番

役員の数6名以上である場合には記載欄が不足するので、別紙として同様の記載欄を必要数設けたものを作成して添付する。

記載要領

- ※印欄には、記載しないこと。
- 届出者は、氏名を記載し及び押印することに代えて、署名することができる。
- 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと(「警備業務の区分」及び「警備業務の種別」欄については、2以上の区分又は種別の警備業務を行う場合には、該当する数字すべてを○で囲むこととし、そのうち主として行うものについては、◎とすること。)
- 営業所ごとの「警備業務の区分」欄及び「選任に係る警備業務の区分」欄中の「1号」とは法第2条第1項第1号の警備業務の区分を、「2号」とは同項第2号の警備業務の区分を、「3号」とは同項第3号の警備業務の区分を、「4号」とは同項第4号の警備業務の区分をいう。
- 「警備業務の種別」欄中の「現金運搬警備業務」とは、貴重品運搬警備業務のうち現金の運搬に係るものをいう。その他の用語の意義については、警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第20号)第1条を参照すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

